

# 滋賀県議会だより



No.123

編集・発行 / 滋賀県議会

## 6月定例会議の概要

6月20日～7月12日の23日間

6月定例会議では、「米原駅東口周辺まちづくり事業」における県土地開発公社からの土地取得やアユ不漁に伴う対策に要する経費のほか、国の内示を受けた公共事業費の追加等に係る経費など43億516万3千円を追加する「令和6年度滋賀県一般会計

補正予算(第1号)」や、県立高等専門学校施設の施設整備に向けて、設計業務に要する経費3億7,909万3千円を追加する「令和6年度滋賀県一般会計補正予算(第2号)」など、知事提出議案17件と議員提出議案5件が上程されました。

これらを審議した結果、いずれも原案のとおり可決または同意しました。

また、各委員会では、付託された各議案、請願その他所管事項について審議等を行いました。

### 財政健全化

**問** 本県経済は、円安等の影響による物価高や人手不足などにより、全体としては持ち直しの動きが弱まっています。そのような中、将来にわたって安定的な歳入確保を図りつつ、新たな行政需要にも的確に対応しながら歳出の見直しを進める必要があると思いますが、どのような方針で取り組むのか伺います。

**答** 安定的な歳入確保については、産業誘致の推進など地域経済の活性化による県税収入の確保や、国費の獲得に最大限取り組みとともに、地方交付税の総額確保・拡充にも努めていきます。歳出の見直しについては、全ての施策・事業について不断の見直しを徹底し、新しい行政需要にヒト・財源を振り向けていく「ヒト・財源の配分のシフト」を進め、限られた財源の中で、施策の重点化を図りつつ、最少の経費で最大の効果が挙げられるよう取り組んでいきます。

また、社会保障関係費をはじめとした義務的経費や物価高騰等による諸経費の増加などにより、将

## 6月定例会議における 質疑・質問から



来に向けた財政負担が高まると認識しています。このような中においても、本県の持続的な発展のためには、人づくりや地域振興、経済の活性化など、滋賀の将来に向けた投資による好循環を生み出していくことが重要です。このため、定期的に財政収支見直しを更

### 高等専門学校

**問** 滋賀の産業を支える人材の育成を図る県立高等専門学校の整備について、膨れ上がる巨額予算を投じての設置の必要性および事業費増額に対する認識を伺います。

**答** 県立高専の設置には、これな期待をいただいています。競争力のある産業の創出・育成や雇用の維持・拡大のほか、地域社会の持続的発展のためには「専門的技術を用いて価値創造ができる実践的な高度専門人材の育成」が必要であり、未来に対する重要な投資であることから、設置は必要と認識しています。

### 水環境

事業費については、県内類似施設の整備実績に物価上昇等を加味して算定した単価を基礎としたものですが、妥当性の検証が不十分であったことなどの要因により、結果として、当初より大幅に増額したものです。

有為な高度人材の輩出に向けて、早期の開校が重要だと考えており、スケジュールが厳しく、事業費も増加していますが、令和10年4月の開校時期を堅持するべく取り組みます。県立高専は、子どもたちに新たな学びの選択肢を提供し、人生の可能性を大きく広げるものだと考えており、様々な主体との共創により、本県の将来における持続的発展の光となる県立高専を創っていきます。

**問** 本年5月にインドネシアで開催された第10回「世界水フォーラム」で、知事が「世界水デー」の制定の提起をされ、成果文書に盛り込まれましたが、今後の国連総会での決議の見込みをどのように考えているのか伺います。

**答** 今回の会議に参加し、世界での水問題への注目や関心の高まりを強く実感したところで、「世界水フォーラム」の制定については、今回のフォーラムを主催したインドネシア政府の提案により、国連総会に諮られる見込みであり、その実現に向けて関係省庁と情報共有し、緊密に連携してい

### 健康医療



世界水フォーラムの様子

**問** 県立総合病院と小児保健医療センターの病院統合にあたって、センターの専門性をどのように維持・強化されるのか伺います。

**答** また、全国でもあまり類を見ない子ども専門の医療が後退することのないよう、今後、県民の理解を得ながらどのように良い方向に進めようとするのか、見解を伺います。

統合後の総合病院において、も、重症心身障害児等に対する包括的かつ専門的な医療や福祉

きます。

また、広報啓発については、国際湖沼環境委員会等と連携し、「琵琶湖を愛し、琵琶湖とともに生きてきた私たちの暮らしが、世界から見ても大きな価値を持つ」ことを国内外に発信することで、県民だけでなく、世界の人々の新たな気付きと更なる自発的な行動へとつなげていきます。

### 用語解説

※「世界水フォーラム」・・・国際 NGO である世界水会議 (WWC) が開催国と共に 3 年に一度開催する水に関する世界最大級の国際会議。

世界中の水に関する関係者が一堂に集い、水と衛生に関わる様々な問題への対処について議論する。

第3回(2003年)の日本開催(滋賀、京都、大阪の琵琶湖淀川流域での開催)を契機に参加国数、参加者数が増え、注目度が高まった。

サービスを提供することができるよう「こども医療センター」を設置します。また、専門性の高いチーム医療を提供できる体制を構築するなど、病院の総合力を高めながら、対象疾患の拡大や、重症心身障害児の成人後の対応強化なども進めていきます。

病院統合後も、難治・慢性疾患の治療をはじめとする小児保健・医療・福祉サービスの中核としての役割を引き継ぎ、拡充していくことが必要だと考えています。引き続き、県民の皆様の不安の払拭に努めながら、子どもから大人まで切れ目なく医療を提供できる体制の構築に向け、丁寧に取組を進めていきます。

### 子ども政策

**問** 知事は、「(仮称)滋賀県子ども基本条例」の年内策定を目指す」と表明されている中、子ども若者審議会から6月21日に答申を受けられました。答申のポイントと答申を受けてどのような方向性で新条例案を策定していくのか伺います。

**答** また、今年度中に策定が予定されている「淡海子ども若者プラン」の次期プランについて、子ども、教育、福祉、医療、労働等の分野横断的な取組を推進するために、子ども・若者のニーズをより的確に反映した計画にする必要があると考えますが、次期プラン策定への決意について伺います。

**答** 答申のポイントについて、①子どもの権利を守ることを明確に位置付けて社会全体で取組を推進していくこと、②子どもの意見を尊重、反映し、意見聴取に当たった際の配慮事項を盛り込

んでいること、③子どもを権利侵害から守る個別救済や制度提案などを行う第三者機関(仮称)滋賀県子どもの権利委員会」を設置することの三つが挙げられます。今後、これら三つのポイントを踏まえ、子どもを真ん中に置く取組が社会全体に広まることにつながる条例となるよう年内策定に向けて取り組まします。

また、次期「淡海子ども・若者プラン」策定について、「(仮称)滋賀県子ども基本条例」の理念を実現するための計画として、子どもの権利が守られる社会づくりに向けた推進力になるものと考えており、子どもや若者の意見を聴き、反映し、フィードバックできるように全庁を挙げて検討を進め、次期プランが本県の子ども若者政策の礎となり、「子どもや若者の笑顔と幸せあふれる滋賀」につながるよう、県民の皆様とともに取組を進めていきます。



子ども県議会の学習会の様子

### 交通施策

**問** 利便性が高く効率的で、地域に最適化した地域交通ネットワークを具体化するための施策と必要な財源の在り方を検討する

ため、滋賀地域交通活性化協議会を設置し、本協議会において、「滋賀地域交通計画」をまとめることとされています。地域ごとの交通の在り方、地域の将来像についてどのように議論を進めていくのか伺います。

**答** 各地域で行うワークショップにおいて、高齢者や子育て世代、学生など幅広い層の県民や企業の皆様とともに、地域ごとの望ましい交通軸の姿を描き、その実現に必要な施策を積み上げるとともに、「その費用をどのように賄うべきか」という議論を進め、年明けの県民フォーラムにおける県域レベルでの議論につなげていきます。その中で、地域交通を支えるための財源の一つの選択肢として「交通税」を提起し、参加型税制の観点から、県民や企業等の皆様に議論いただきたいと考えています。これらの議論を踏まえ、年度内に策定を目指している「滋賀地域交通計画」骨子にも、必要な施策とその財源、負担分担の在り方を盛り込めるよう取り組んでいきます。

### 警察

**問** 本県の治安をどのように認識し、地勢的な面から見て、どのような取組を推進しようと考えているのか伺います。

**答** また、「ぼけっとポリスしが」の導入は、県民と警察の距離がより身近に感じられるとともに、県民の安心の向上にもつながっていると思います。導入の意図と運用状況、今後の展開について伺います。

**答** 近年、減少傾向にあった刑法犯認知件数が2年連続で増

加に転じ、犯罪率が同規模県に比べて高くなっていることに加え、SNS型投資・ロマンス詐欺の被害が大幅に増加傾向にあるなど、その治安情勢は、憂慮すべき状況にあると認識しています。

本県は、近畿・東海・北陸地方を結ぶ交通の要衝にあり、人の流動が激しいことが、犯罪率が高い要因の一つではないかと考えられます。また、県中央に琵琶湖が位置するという大きな地勢の特徴も有していることから、各警察署だけではなく、広域的な対応が可能な警察本部からの支援も重要であり、引き続き、警察本部と警察署が一体となって効果的・効率的な警察力の運用に努めていきます。

また、「ぼけっとポリスしが」については、県民の皆様が安心・安全情報を常に持ち歩いていたいただきたいという願いを込め、本年3月1日から運用を開始しています。これまで、特殊詐欺の予兆電話や、子どもに対する不審者情報といった注意情報を、アプリの機能を生かしてタイムリーに発信しています。

今後は、一層の利用者数の増加を図るとともに、交通安全など更に幅広い分野での発信・活用を行い、県民の安心・安全のための総合的な情報発信ツールとしての運用を目指していきます。

安心・安全を 持ち歩こう！

ぼけっとポリスしが アプリ

### 議会からのお知らせ

#### ●滋賀県議会ホームページ、X(旧ツイッター)

本会議や委員会の開催情報、議会の仕組み、議員の紹介、会議録など、県議会の最新の情報を随時掲載しています。また、本会議の様子はライブ中継と録画配信もしています。(※スマートフォン等でも御覧いただけます。)

滋賀県議会ホームページ <https://www.shigaken-gikai.jp/>

滋賀県議会X(旧ツイッター) (アカウント名 @shigakengikai)

スマートフォン等でも御覧いただけます。



#### ●テレビ放送の御案内

9月1日(日)・9月8日(日)の午後6時30分から、県議会広報番組「委員会活動リポート」をびわ湖放送で放送します。

番組では、9月1日は常任委員会の、9月8日は特別委員会の、それぞれの委員の紹介、委員会の審査や県内調査の様態、委員長のインタビューなどをお届けします。どうぞ御覧ください。

### 議場コンサート

9月18日(水)、9月定例会議の本会議終了後にびわ湖ホール声楽アンサンブルによる議場コンサートを開催します。わたSHIGA輝く国スポ・障スポイメージソング「シャイン!!」等の合唱を予定しており、詳細が決まり次第、議会ホームページ等でお知らせします。



### 6月定例会議で審議した主な議案

議案番号	件名	結果
(知事提出) 議第88号～ 議第89号	令和6年度滋賀県一般会計補正予算(第1号)ほか1件	可決
議第90号～ 議第96号	滋賀県税条例の一部を改正する条例案ほか6件	可決
議第97号	令和6年度滋賀県一般会計補正予算(第2号)	可決
議第98号～ 議第104号	滋賀県副知事の選任につき同意を求めることについてほか6件	同意

### 6月定例会議で審議した決議・意見書

議案番号	件名	結果
決議第1号	ガザ地区における人道状況の改善と速やかな停戦の実現を求める決議案	可決
意見書第8号	若者・子育て世代への経済的支援の強化を求める意見書案	可決
意見書第9号	刑事訴訟法の再審規定の改正に向けた議論を求める意見書案	可決
意見書第10号	保護司の安全確保を求める意見書案	可決
意見書第11号	社会福祉施設職員等退職手当共済制度における保育所等に対する公費助成の継続を求める意見書案	可決

この印刷物は古紙パルプを配合しています